

平成 20 年度 事業計画

昨年度は、岐阜県とJR6社によるデスティネーションキャンペーンが展開されましたが、引き続き岐阜県では、平成24年の“清流国体”に向けて、観光岐阜による活性化を図るために“飛騨・美濃じまん運動”を展開します。今年度は「食と温泉」にテーマを絞り様々な取り組みが計画されています。また、JR東海でも地域を巻き込んだ誘客キャンペーンが計画されています。国では観光立国推進基本法を基に今年10月に観光庁が発足し、地域の歴史や文化を生かし「住んでよし、訪れてよし」の地域づくり、「観光圏」による滞在型観光、省庁横断で元気な地域・新たなビジネス展開を支援する施策などで、地域の活性化を目指しています。

7月5日には東海北陸自動車道が、構想から半世紀を経て全線開通します。これを機に高速・自動車道を活用した新たなキャンペーンの展開が計画されています。

こうした施策をとらえ、多様化するニーズに応え、新たな観光資源やメニュー開発、人材を生かした着地・提案型観光、南飛騨健康保養地などを生かした温泉地づくりに取り組んでまいります。併せて、各種媒体を活用したより効果的な宣伝や情報発信を進めるとともに、各地での観光展、キャラバンなどによる誘致事業を展開するとともに、観光振興計画や人材育成など、魅力ある観光地おもてなしの向上を求めていかなければなりません。

道路網の整備が進む中で、アクセスの向上や河川整備などの基盤整備の促進と、有効活用などを関係機関へ働きかけてまいります。

「いでゆ夜市」を始め各種イベントの開催、市や関係団体の催物への協力をするとともに、朝市についても検討を進めることとします。

植樹や手入れ、清掃活動など環境整備事業も定期的に行い、長期計画による名所づくりにも取り組んでいくこととします。

ビジットジャパンキャンペーンに呼应し、下呂市台湾事務所の効果的な運用を図るとともに、関係機関との連携を図り外国人誘客の招致事業や観光展への参加など、インバウンド事業も積極的に進めてまいります。

昨年からはまった温泉卓球をはじめ、長年にわたって続いているスポーツコンベンションの開催が予定されており、建設がはまった交流会館の活用に向けた誘致活動なども展開していかなければなりません。

本年度は国の法人組織の見直しが予定されており、その方向性や会費の検討などを進め、一層の組織の充実と拡大を図ってまいります。

会員各位のご協力をお願い申し上げます。